

---

# ルイズ物語

ポギャン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ルイズ物語

### 【Nコード】

N4531BA

### 【作者名】

ポギャン

### 【あらすじ】

ルイズ・フランソワーズは転生者で、前世は日本の女子高生で暗殺者でもあったが、実の母親に殺されトリスティンはヴァリエール公爵家三女として生まれ変わり。家族すら信じられずひとり悪の道に突き進む少女に、救いの日々は訪れるのか……………。

## 第1話：覚醒（前書き）

やってしまいました。

この小説は、原作破壊やルイズは転生者で性格が破綻していますので。原作が好きな方は見ないことをすすめます。

## 第1話：覚醒

「ルイズ起きなさい！ いつまで寝ているのですか、今日から四歳になったのですから今までみたいな甘えは許しません。」

先程、メイドがいくら起こしても起きないので知らせを聞いたカリリー又直々にルイズを強制的に起こしに来たのであった。

「アナタ、ダレ。」

他人みたいな呼び方で自分の娘に言われたカリリー又は

「ウインドブレイク。」

と唱え、ルイズに向けて放ちました。

「痛い！ いきなり何するのよ、オバサン。」

カリリー又の後ろに控えていたメイドは、ルイズのその言葉を聴いた瞬間。顔色が真っ青になり、身体全体は震えて暫くおさまりそうにはならなかったのでした恐怖のあまり。

「母に対して口の聞き方がなってますねルイズ、今日から付きつきりで徹底的に礼儀を叩き込みますから覚悟なさい。」

（記憶が段々はつきりしてきたわ、此処は私が好きな小説ゼロの使  
い魔のヴァリエール公爵家の屋敷内の自分の寝室なのね、そして目  
前に毅然としているひとが烈風カリンであり、今の母親でもあるカ  
リーヌ・デジレ・ド・マイヤールなのね。）

この後、強制的にルイズを部屋から連れだして、朝食の席ではおそ  
ろしい程厳しく接していたカリーヌなのであった。

ルイズがカリーヌから解放されたのは、夕食後のお風呂に入り寝室  
に戻ってきたときなのでした。

（やっと自由になれたわ、でもなんか昔、水無瀬流暗殺術を叩き込  
まれた頃を思い出すわ。生まれ変わって感じるけど前世はろくでも  
ない人生だったわ。）

心の中で前世を振り返るルイズは以前は、水無瀬澗とよばれていた  
暗殺術を生業とする一族の本家に生まれ、幼い頃から徹底的に人を  
殺す技術を仕込まれ人生に幕を引く時まで、老若男女、善人悪人問  
わず数百人者の命を奪う修羅の道を歩んで来たのでした。

（まさか、前世での最期が実の母親に心臓を刺されて終わりなんて  
ね、これも外道に相応しい死にかたと思えば納得できるわ、罪もな  
い女や子供達をお金で請け負って殺してきた悪人に相応しいから、  
こんな薄汚れた私でも一度で良いから好きな男と素敵な恋をして結  
ばれて子供を産んでみたかったなあ、自分の人生っていったいなん

だっただんたろう……。)

ルイズは前世を思いだしていた、何故やりたくもないひとを殺すような惨めな人生を過ごさなければならなかったのかと。

(でも生まれ変わった現世では、ルイズ・フランソワーズだから波瀾万丈な人生になるけど、誰かに強要されてひとを殺さなくても良いし、何よりも私を愛おしむ両親とふたりの姉がいるのだから、それに十二年後には最愛のひとになる平賀才人に出会えるのよ。)

惨めな人生だった、前世と違い現世では幸せに成りたいと願いながら眠りにつくルイズなのでした。

ルイズが前世の記憶に目覚めて、一年が過ぎた今日は五歳の誕生日であると同時に魔法を使うための杖と契約する大事な日でもありました。

「見ていて父様、母様、私が杖と契約するところを。」

魔法が使えるようになるのが嬉しくて、さっきからハシヤギ回るルイズを心配して軽く注意しようとするヴァリエール公爵。

「ルイズそんなに動き回ると転んであぶないから、落ち着くんた。」

「もうあなたはルイズには甘いんだから、ちょっとはわたしにも構

ってくれたら良いのに。」

そう言つて公爵の脇腹にひじ鉄を喰らわせるカリィヌ。

「痛い！ やめてくれカリィヌ、皆が見ているのだから、な、機嫌を直してくれ。」

そう言つて妻に脇腹への攻撃をやめるように頼む公爵なのであつた。

「解りましたわ、そのかわりに今夜はタップリと愛して貰いますからね・ア・ナ・タ。」

そう言つてニッコリと微笑むカリィヌでありました。

（父様は相変わらず母様には頭が上がらないのね。後十一年このまま何事もなく過ぎれば良いとおもっていたけど、最近ちい姉様が私を見る眼がほんの少しだけかわつたのは気のせいではなくて、生まれ変わりでしかも、前世で悪人だった時の負のオーラを見抜かれているかもしれないと思うと、何もしない訳にはいかない、大好きなちい姉様だけど、この先障害にならないうちに始末しなければ自分の身が危ない。）

自分が生まれ変わりだということが、カトレアには殆どばれていると解つたルイズは、ハルケギニアでは絶対に解らない水無瀬の毒薬を調査して、心不全などを装って、始末しようと考えているのでし

た。

ルイズは大好きな両親、二人の姉といえども、自分に取って邪魔になると判断すれば、躊躇しないで始末しようと思っるのは前世の水無瀬澗だったときに、一番信頼していた母親に裏切られ殺され、しかも父親と二人の兄がその場所にいたのに、助けてくれず。見殺しにされたのがトラウマになり、それで身内でも全く信じていなかったのです。

ルイズは無事、杖との契約を成功して両親を喜ばしていたのです。

ルイズは杖と契約した一週間後の虚無の日に、空間転移を使いカトレアが留守のときに部屋に忍び込み愛用のティーカップの底に水無瀬の毒薬を塗り込めたのです。

その当日の午後のティータイムに話があるといって、殺意を秘めた顔をしてカトレアの部屋に入るルイズなのです。

（私は今から大好きなちい姉様を殺しに行くの。正体に気づかないでいてくれたら、身内殺しという罪をしないで済んだのと思うと例え生まれ変わっても人殺しには安住の地はないのと判っていたけど……。）

外の天候は急激に崩れ、ルイズの心中をうつすような嵐が来ようし

ていたのです。

続く。

## 第1話：覚醒（後書き）

この後ルイズは邪魔する者は、身内でも排除していく修羅の道歩んで行きますが、救えるとしたら才人だけでしょう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4531ba/>

---

ルイズ物語

2012年1月12日10時52分発行